



最初にお読みください

AT-MWS600AP/AT-MWS900AP リリースノート

この度は、AT-MWS600AP/AT-MWS900APをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
まず。

このリリースノートは、マニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 1.0.0

2 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.0.0 には、以下の制限事項があります。

2.1 Web 設定画面

参照 リファレンスマニュアル


- Network > Wireless > 5GHz の Channel HT Mode を 40MHz に設定しているときに無線関連の設定変更を適用すると「Processing Now! Please wait..」のポップアップが表示されますが、このポップアップを閉じてすぐ Wireless ページにアクセスすると、設定が不正というポップアップが表示されることがあります。これは設定の適用がまだ完了していないためで、少し待てば設定が正しく適用されます。
- Web 設定画面右上の Unsaved change list (未保存の設定項目一覧) が長い状態で、SSID 設定画面の「Edit」をクリックすると、Web 設定画面が正しく表示されなくなることがあります。その場合はいったん未保存の設定を適用 (Apply) してください。これにより Web 設定画面が正しく表示されるようになります。
- Network > Wireless において、Aggregation は Wireless Mode に「802.11 N」を含むオプションを選択しているときのみ機能しますが、「802.11 N」を含まないオプションを選択した場合でも Aggregation を有効に設定できてしまいます。また、この場合、無線クライアントが本製品に接続できないことがあります。Wireless Mode に「802.11 N」を含まないオプションを設定するときは、Aggregation を無効にして、本体を再起動してください。本製品が AT-MWS GP シリーズの管理下にある場合は、Aggregation を無効にして、本製品を初期化してください。
- Overview > Connections に表示できる無線クライアントの最大数は 120 台です。これは表示上の問題であり、実際には 120 台以上の無線クライアントを接続できます。

2.2 AT-MWS GP シリーズによる管理

- AT-MWS GP シリーズから本製品に Wireless Settings > SSID profile の VLAN ID 設定を一度割り当てたあと、本製品に異なる VLAN ID 設定を割り当てようとすると、設定内容が反映されない場合があります。VLAN ID 設定を変更する際は、本製品の VLAN isolation をいったん無効にし、再度有効にしたあと、新しい VLAN ID を設定してください。
- 本製品が AT-MWS GP シリーズの管理下にある場合は、本製品に設定を適用したあと、本製品を一度再起動してください。

3 マニュアルの補足・誤記訂正

3.1 サポート対象外の機能と設定項目

 [リファレンスマニュアル](#)

下記の機能と設定項目はサポート対象外です。

- **コマンドラインインターフェース (CLI)**
Telnet、SSH 経由での CLI アクセスはサポート対象外です (Telnet サーバーはデフォルト有効で無効化できませんが、Telnet サーバーへのアクセスはサポート対象外です)。また、これに関連して下記の設定項目もサポート対象外になります。
 - ・ **CLI 設定**
Management > Advanced > CLI Settings
 - ・ **SSH サーバー設定**
Management > Advanced > SSH Settings
- **夏時間設定**
Management > Time Zone > Enable Daylight Saving

3.2 ダイナミック VLAN

本製品はダイナミック VLAN には対応していません。

3.3 DHCPv6

本製品は DHCPv6 には対応していません。

3.4 LLDP

LLDP はデフォルト有効です。無効にすることはできません。


3.5 ログ

本製品のログ容量は 16KByte です。

3.6 無線 LAN コントローラー AT-MWS GP シリーズで管理する場合の注意事項

- 本製品を無線 LAN コントローラーによって管理する場合、本製品が持つ機能のうち、下記機能の設定、使用はできません（併記しているのは、単体動作しているアクセスポイントの Web 設定画面におけるメニュー項目です）。
 - ・ **IPv6 設定**
Network > Basic > IPv6 Settings
 - ・ **ワイヤレス MAC フィルター**
Network > Wireless > Wireless MAC Filter
 - ・ **各種管理機能（SNMP、HTTPS、Email、日時、WiFi Scheduler 設定など）**
Management
 - ・ **設定のバックアップ・リストア**
System Manager > Backup/Restore
 - ・ **ログ設定**
System Manager > System Log
- 単体で使用していた本製品を無線 LAN コントローラーの管理下に置く場合は、事前に本製品をご購入時の状態（Factory Default）に戻す必要があります。
- 無線 LAN コントローラーの管理下にある本製品の Web 設定画面では、本製品の状態確認だけが可能で設定変更はできません。
- 無線 LAN コントローラー管理下でのみ使用可能な Fast Roaming 機能（コントローラーの SSID Config 画面）は、2.4GHz、5GHz それぞれの SSID 一覧画面における ID=1 の SSID でしか動作しません。
- 本製品が無線 LAN コントローラーの管理下にあるとき、無線 LAN コントローラーとの通信が途絶えても、本製品はその時点の設定内容で動作を継続します。

3.7 アンテナ 1 本あたりの送信電力

 リファレンスマニュアル

本製品は、次表の最大送信電力を上限に送信電力を調整することができます。最大送信電力は、「Transmit Power (送信出力)」を 100% に設定したときの本製品のアンテナ 1 本あたりの送信電力です。

周波数		IEEE 802.11 モード	帯域幅 (MHz)	最大送信電力 (dBm)	
				AT-MWS600AP	AT-MWS900AP
2.4GHz		b	—	11.0	7.0
		g	—	14.0	11.0
		n	20	14.0 ^{*1}	11.0 ^{*1}
			40	14.0 ^{*1}	11.0
5GHz	W52/W53	a	—	10.0	9.0
	W56			14.0	12.0
	W52/W53	n	20	11.0	9.0 ^{*1}
	W56			14.0	13.0
	W52/W53		40	10.0	9.0 ^{*1}
	W56			15.0	12.0

Transmit Power (送信出力) 設定値	減衰値 (dB)
100%	0.0
75%	-1.2
50%	-3.0
25%	-6.0
10%	-10.0

※1 Transmit Power (送信出力) 設定 25% までの保証となります。

4 最新マニュアルについて

最新のユーザーマニュアル (613-002043 Rev.B)、リファレンスマニュアル (613-002090 Rev.B) は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、これらの最新マニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのマニュアルが上記のものでない場合は、弊社ホームページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>